

# 今月のイチオシ



**株式会社タイムカプセル社**  
喜多川 泰(著)  
ディスカバー・トゥエンティワン  
新しい人生を始めよう。何度でも。人生の再出発への勇気を贈る自己啓発の要素も盛り込まれた感動のストーリー。



**i (アイ)**  
西 加奈子(著)  
ポプラ社



**絵ときゾウの時間とネズミの時間**  
本川 達雄  
福音堂書店



**大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる**  
高橋 伸夫  
角川書店



**ブラタモリ(1)**  
NHK「ブラタモリ」制作班(著)  
角川書店

## 公民館図書室利用時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。このほかにも、たくさん楽しい本が皆さんを待っていますので、ぜひご利用ください。



# 本とハッピー

## はばたけ! 昭利村消防団



消防ポンプ操法競技会出場  
第六分団 澤浦 裕也さん

### 「ポンプ操法の意義」

今回、小型ポンプ操法の指揮者として出場させていただきました。出場するにあたり「そんなに必死になつてポンプ操法して意味あるのか」と多くの人に言われました。

しかし否定しません。「意味あります」ポンプ操法に対して取り組む姿勢と防災意識は比例すると思います。私は、昭利村以外に数ヶ所で生活しましたが、有事の際、こんなに素早く多くの消防団員が出動するのは見たことありません。この意識の高さがポンプ操法に対しての取り組みに表れていると実感しました。

最後に、今回協力していただいたり、ご迷惑をおかけした方々へ、今後の消防活動で還元していきたいと思ひます。

## 地域包括支援センターだより

# 実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操♪

今回は『宿ふれあいいきいきサロン』を紹介します。

- 場所：宿集落センター
- 日時：毎週(水) 午後2:00～

### ☆ここが私たちの魅力☆

- 春はお花見、夏は夏休み、秋は旅行、冬は忘年会と、季節ごとのイベントが盛りだくさん！みんなで一緒に出かけ、わいわい楽しんでいるとのこと。
- 健口体操と筋トレ体操は、まじめにしっかり取り組んでいる。「筋トレに通っているというプライドがある」という、力強い言葉も聞かれた。
- お茶とおしゃべりの時間もサロンの楽しみのひとつ。先輩方が教えてくれる野菜作りの話はためになると好評で、現役世代が教えてくれる話もしゃべりが分かって良いと好評。

### みんなの声

・楽しい・新しい人が増えた・ここに来れば笑いがある・年をとっても続けられる・自分で歩いてこられる・お世話してくれる人たちのおかげ・おしゃべりがおもしろいなど



「和気あいあいとした感じが好き♪」と笑顔の皆さん

地域包括支援センターはサロンを応援しています！

ふるさと昭和 ～歴史を訪ねて～

第56回

利根郡最初の発電所  
永井沢発電所

昭和村ボランティアガイドの会  
理事 倉澤 俊雄

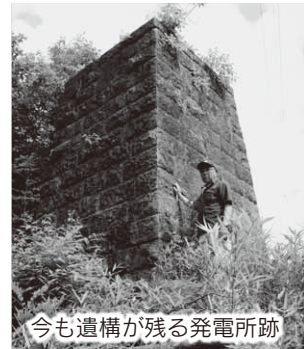
利根郡最初の水力利用によ

る発電所が、大字川額永井沢の溪流を利用して建設された永井沢発電所である。当時の久呂保村長真下弁次郎は、郷土文化の発展と沼田町への送電を意図してこの事業に取り組んだ功労者である。利根電力(株)は、明治四十一年四月二十五日に資本金二万一千円で設立し社長に黒岩佐五七、専務取締役に真下弁次郎が就任し、明治四十一年十月七日に開業している。送電は発電所から入原、伏田、君河原、片品川横断、戸鹿野を経て沼田町に送られた。営業所は東倉内に置かれていた。

利根電力(株)の経営内容を見ると、資本金はその後増資しており三万五千円となる。技術者主任 虎除政雄 技手 岸熊雄 補手綿貫寛哉。発電所の出力は四十三キロワット単相、有効落差一四〇尺(四二・四メートル)一八二

馬力のペルトン水車と発電機が据え付けられていた。

沼田町への送電は、明治四十二年末において四八八戸に二四五灯を供給していたが、規模が小さすぎて経営は困難であったという。



今も遺構が残る発電所跡

この永井沢発電所に近い平田照房宅が、当村において最初に電灯をつけた家だったそう、料金は、十燭光一ヶ月三十五銭だったという。

また、この発電所に落雷のあった翌朝「雷様のお姿はどんなでしたか」と真剣にたずねた村民がいたと綿貫寛哉補手の笑い話もあったと聞く。

明治四十四年十一月、経営困難のため利根電力は利根発電に合併され、永井沢発電所は大正末ころ廃止となった。今も発電所の跡が残っており、当時をしのばせている。

参考文献 村誌久呂保・沼田市史

「ちよつと真面目な話」

高校を卒業して早4年。気付けば社会人5年目となりました。働き始めた時は職場で一番若かったはずなのに、今では中学や高校の学年すらかぶらない子が居るなんて。私もまだまだ若輩者ですが、時の流れの速さに戦々恐々とする今日この頃です。

周りを見渡せば、結婚して立派なお母さんになっている友人や高校・大学を卒業してバリバリ働いている友人、夢や目標に向かって勉強に励んでいる友人、生きがいを見つけてキラキラ輝いている友人。それぞれが様々な人生を歩んでいます。中には、進むべき道や本当にやりたいことが分からず悩んでいる人も居るかもしれません。私も何が正解なのかは皆目見当もつきませんが、例え何かにつまずいたり失敗したりしても、いつか笑い話にできればそれだけで人生丸儲けですね。

次回の登場者は、飯塚 一希さん(22歳・入沢)です。



高橋 琴美さん (23歳・大河原)

次回登場者紹介

心優しい元生徒会長です。